

なきごえ

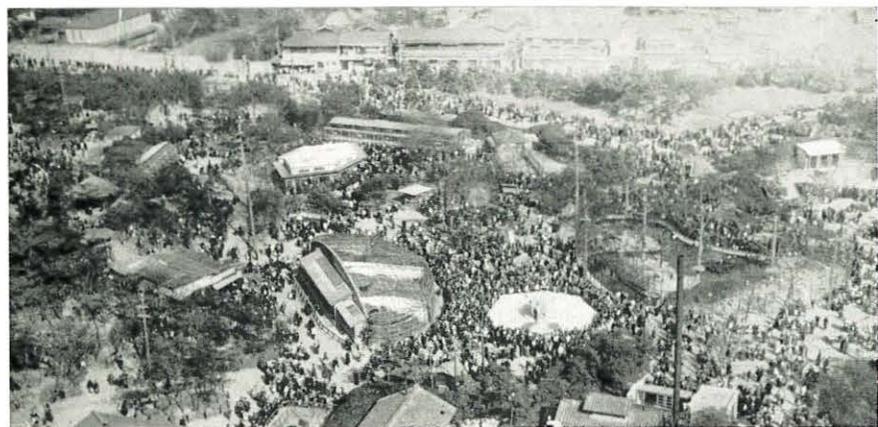
50周年記念特集号



1965

10
11

大阪市
天王寺動物園



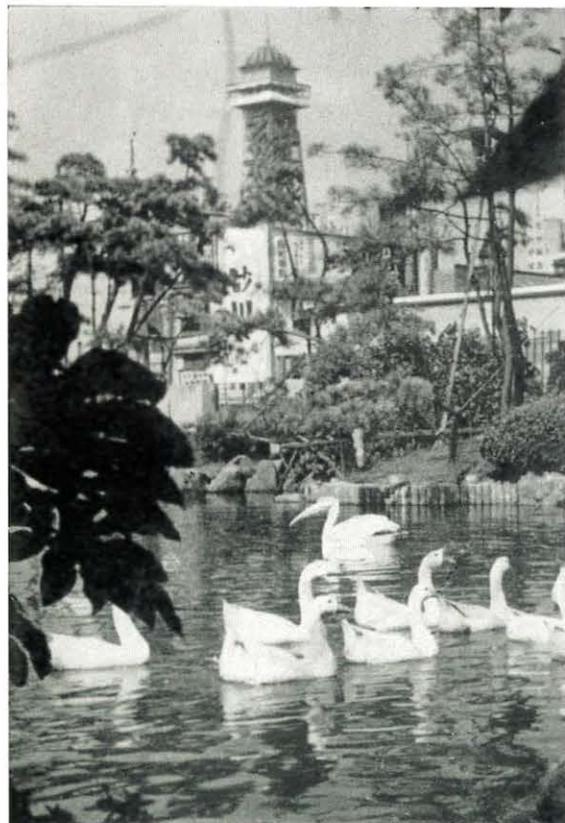
大正時代の動物園

現在の動物園



フラミンゴ池と現在の通天閣

水禽池と昔の通天閣



天王寺動物園長

和田辰巳

大阪市民の皆様方から最も親しみをもたれている天王寺動物園は今年で50才を迎えました。

天王寺の地に設立せられた当時の模様については幸い初代の林園長が御存命なので、執筆をお願いしましたのでここでは省略しますが、大正3年12月26日開園式の席上、当時の池上市長が次のような挨拶を述べられたといひ伝えられています。

「わたくしは人間に飼育される動物を知っていてもその自然の生態を究めることはできません。子供に対して絵本の中での遊び相手であった動物の夢を現実に描きだしてやりたいと思います。本町の一角に押込められた動物を天王寺という自然に放してやることはとても素晴らしいことだと思います」

市長が童心に寄せられた遠大な抱負はここに誕生しました。そして歴代の市長に引き継がれ、発展してきましたことは私達この仕事に従事するものとして最も喜びとするところであります。

開園当時の動物数は僅か180点でしたが、現在では266種類2,300点にも増え、面積も26,025m²だったのが現在では約4倍に発展しました。中でも昭和36年に樹立せられた、改造5カ年計画



姉妹都市サンフランシスコ市の女子高校生代表を案内する園長

の進展には素晴らしいものがあります。

昭和40年度にはさらに野球場を接収しましたので、面積100,000m²に及ぶようになりました。この旧野球場の15,000m²には日本で初めての試みである円型のカモシカ放飼園が完成しつつあります。各種動物舎もそれぞれ長年の飼育経験と現代感覚をおり込んだ放飼園式を多く採用して改造せられましたので、全く面目一新したものに生れ変わりつつあります。

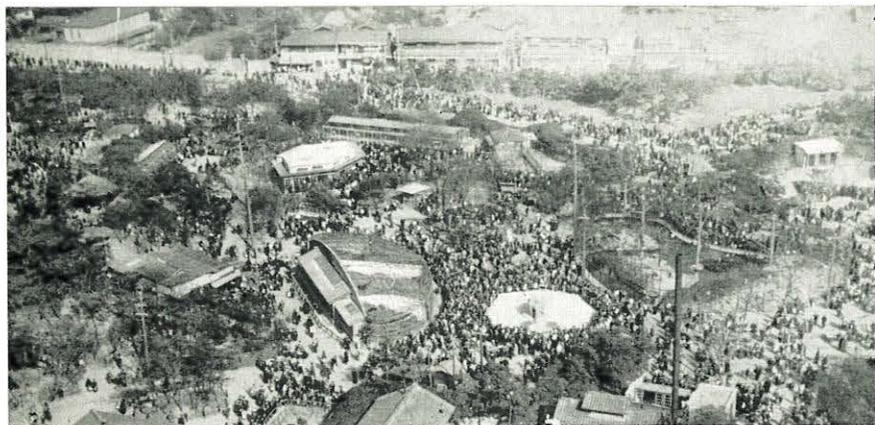
私は常に天王寺動物園は皆様とともにあるものとの信条のもと近代動物園として、より一層皆様方に親しまれつつ発展してゆくことを念願に致しておりますので、どうか皆様方も伸びゆく動物園にご期待とご声援を賜るようお願いします。

完成近いカモシカ園



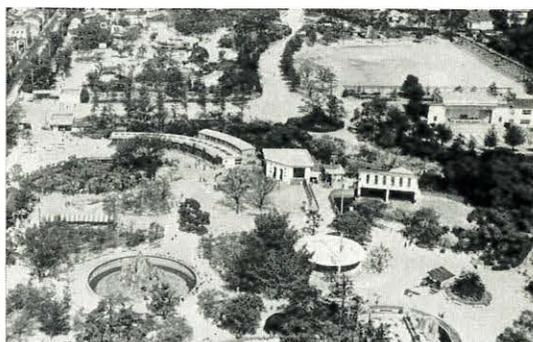
◆目次◆

昔と今の動物園	2
開園50周年に寄せて	3
動物舎紹介	4
動物園の生立ち	6
動物園の思い出	7
座談会	8
動物園と共に50年	12
古きアルバムより	13
飼育動物一覧表	14
動物園ニュース	15

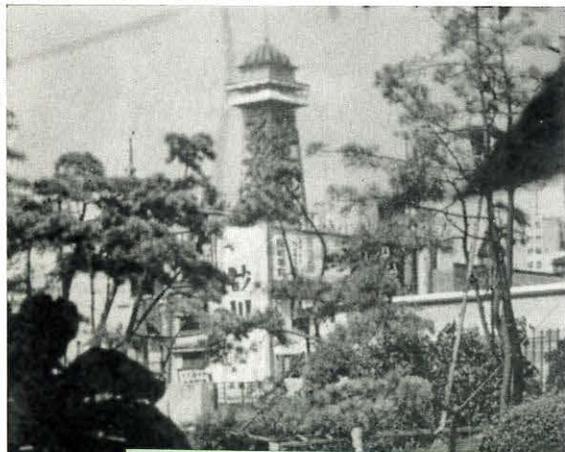


大正時代の動物園

現在の動物園



水禽池と昔の通天閣



フラミンゴ池と現在の通天閣



天王寺動物園長

和田辰巳

大阪市民の皆様方から最も親しみをもたれている天王寺動物園は今年で50才を迎えました。

天王寺の地に設立せられた当時の模様については幸い初代の林園長が御存命なので、執筆をお願いしましたのでここでは省略しますが、大正3年12月26日開園式の席上、当時の池上市長が次のような挨拶を述べられたと伝えられています。

「わたくしは人間に飼育される動物を知っていてもその自然の生態を究めることはできません。子供に対して絵本の中での遊び相手であった動物の夢を現実に描きだしてやりたいと思います。本町の一角に押し込められた動物を天王寺という自然に放してやることはとても素晴らしいことだと思います」

市長が童心に寄せられた遠大な抱負はここに誕生しました。そして歴代の市長に引き継がれ、発展してきましたことは私達この仕事に従事するものとして最も喜びとするところであります。

開園当時の動物数は僅か180点でしたが、現在では266種類2,300点にも増え、面積も26,025m²だったのが現在では約4倍に発展しました。中でも昭和36年に樹立せられた、改造5カ年計画



姉妹都市サンフランシスコ市の女子高校生代表を案内する園長

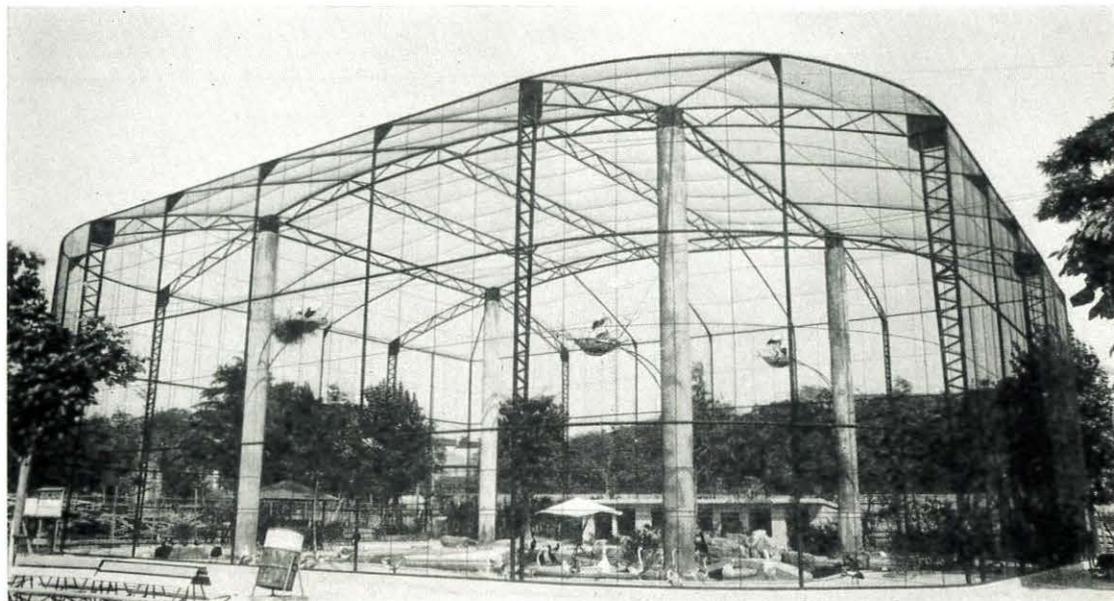
の進展にはすばらしいものがあります。

昭和40年度にはさらに野球場を接収しましたので、面積100,000m²に及ぶようになりました。この旧野球場の15,000m²には日本で初めての試みである円型のカモシカ放飼園が完成しつつあります。各種動物舎もそれぞれ長年の飼育経験と現代感覚をおり込んだ放飼園式を多く採用して改造せられましたので、全く面目一新したものに生まれ変わりました。

私は常に天王寺動物園は皆様とともにあるものとの信条のもと近代動物園として、より一層皆様方に親しまれつつ発展してゆくことを念願に致しておりますので、どうか皆様方も伸びゆく動物園にご期待とご声援を賜るようお願いします。

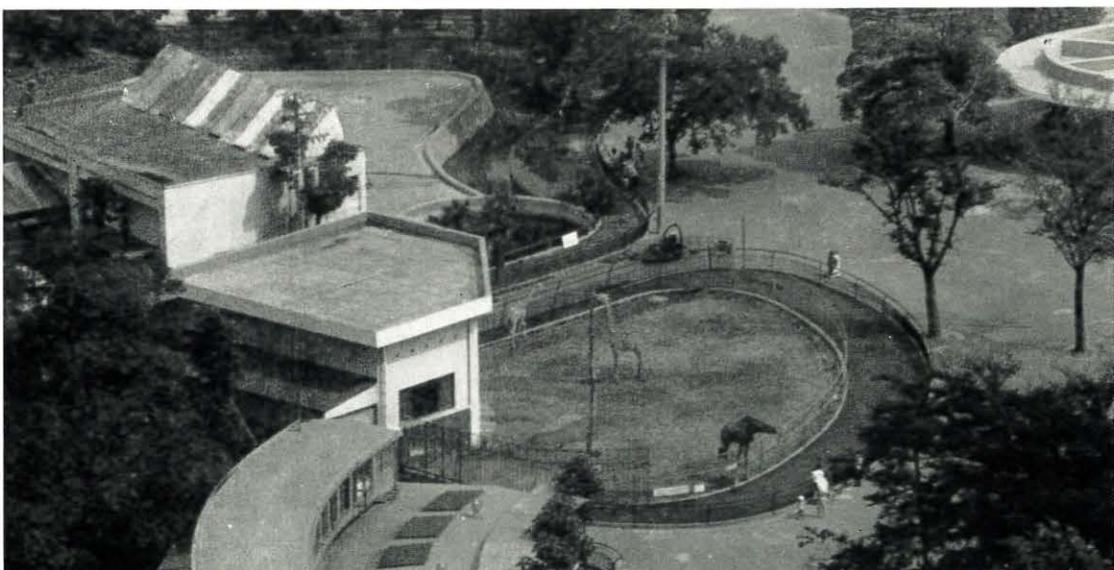
完成近いカモシカ園





新水禽舎<昭和39年完成>

さるアパートからきりん舎・象舎を望む<昭和37年完成>



動物園日記

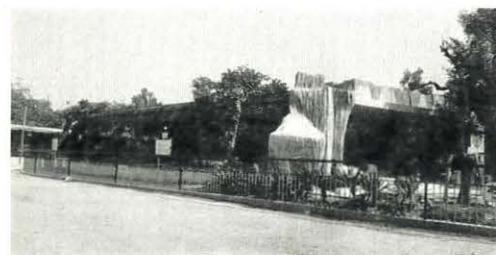
- 9・2 お隣りどおして仲が良かったはずのヨーロッパのおおかみと、ぶちハイエナがけんかをして、おおかみがけがをしました。
- 5 8月14日に入園したためすさいと今春入園したおすさいを、見合いさせたところ、初対面なのになつかしそうにしています。この様子では同居しても大丈夫のようです。
- 6 昭和37年10月2日生まれのめすのライオンが初めて2頭の赤ちゃんを産みましたが、なぜか赤ちゃんの世話をしようとしません。困ったことです。しろててながざるが元気がなくなってきたので、別室に移して治療を始めました。
- 9 ライオンの赤ちゃんのためにお乳を与えてくれる

- 12 乳母犬を新聞で捜したところ、多くの方々から申し出がありました。そのうちで、50匹もの仔犬を育てたというベルちゃんに決めました。ベルちゃんは上手に授乳させ、赤ちゃんライオンもすくすく育つことでしょう。
- 13 あかカンガルーが赤ちゃんを産みましたが、どうしたことか育児袋から出してしまい、育てませんでした。
- 13 チンパンジーのチェリーちゃんが風邪で39°Cの熱を出しましたので、早速薬を与えました。今年ふ化したさんけいのひなに黒頭病が大発生しましたので、家禽試験場とも相談して治療を行ないました。
- 14 台風23号が襲いましたが、動物の被害はありませんでした。
- 15 乳母犬につけていたライオンの赤ちゃんの1匹が

しましまからライオン・とら放飼園
<昭和38年完成>



新しい舎より猛獣舎
<昭和39年完成>



おおかみ舎
<昭和40年完成>



新しい放飼園
<昭和39年完成>

- 死にました。臍帯から細菌が感染して腹膜炎を起したのです。
- 16 8月1日に生まれたピューマの赤ちゃん3頭は45日目に一般の入園者の方々にお見得しました。
- 17 さる島の修理をするため、さる達を捕えました。上手に逃げまわるので仲々大変でした。さる達には迷惑な一日でした。
- 19 台風24号が来襲しましたが、動物たちに被害はありませんでした。
- 20 動物愛護週間が始まり、動物愛護図画の展示などで、動物をかわいがりましょうと入園者の皆さんに訴えました。
- 23 動物感謝祭が、動物慰霊碑の前で盛大に行なわれました。
- 25 オランウータンが床板をはがしてしまいました。

- これで4回目です。このようないたづらをオラン君はよくやるので困っています。オランウータンの怪力のほどがうかがわれます。
- 26 マカロニペンギンが換毛して見違えるほどに美しくなりました。
- 28 ピューマときほりぐまの爪が伸びすぎて、足のうらに食い込むほどになっていましたので、爪を切ってやりました。
- 29 ライオンの乳母犬のベルはお乳が出なくなったので、今度はリリーという犬に乳母犬になってもらいました。
- 30 サルアパートのくろざるが隣のさると大げんかして手に大けがをしてしまいました。早速、捕えて縫ってやりました。

初代園長

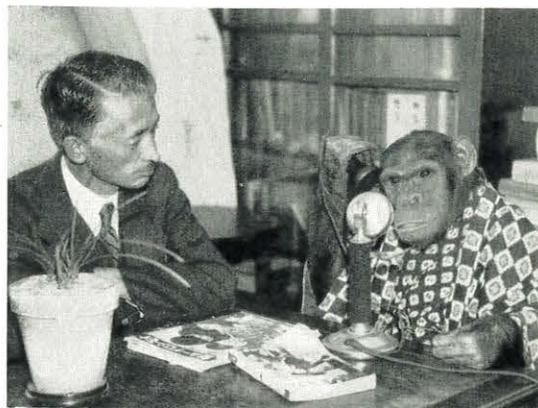
林 佐 市

50年といえばその頃の赤ちゃんが、大学生の息子さんを持ち、またはお孫さんの良きおじいちゃんになっておられる方もおありと思います。また当時の青年で未だ第一線に活躍しておられる方も少なくないと思います。皆さんとともに50年の思い出をここに振り返って見ることにいたしましょう。

東区本町橋詰橋西北角に府立大阪博物場というのがありました。この敷地5,450坪は旧幕府時代の西町奉行所であり現在の貿易会館です。敷地の中央に煉瓦建の美術館があり、その周囲に動物、植物(鉢物)、煎茶席、能楽堂、百畳敷の催物場、書画展示館、松屋町に面して勸商場といって現在の百貨店の草分けのようなものがあり、入場料は大人2銭、小人1銭で市民の唯一の娯楽場でありました。

天王寺公園は明治36年に開催された第5回内国勸業博覧会跡地で大阪市はその東部の半分を公園にしました。

当時は南区の南端で至って淋しいところでした。この公園に動物を移転してはとの声がありました。たまたま北区に大火があり、府の商品陳列所が焼失したので、これの再建敷地として、博物場をあて動物部を天王寺公園に移転して本格的な動物園設置の声が高まり、各新聞もこれを支持しました。これらの世論にこたえて大阪府も動物全部を無償で市に譲り渡すことになりました。そこで大正3年9月昼夜兼行で工事を起し約4カ月の短期間に竣工大正4年1月1日華々しく開園したもので入園料は大人5銭、小人3銭でしたが、たちまち市民の人気に投げ出札場前は長蛇の列で、混雑整理のための柵はおし倒れ毎夜破損箇所を直し、また入場料の勘定も係員の不得手もあって夜おそくまでかかるので、うどんの支給があったりしたものです。ことに園内に足もとを固めるため



有名なり夕嬢と林園長

に撒いた小砂利が、大半檻の中に投げこまれたのを夜間に全部取除いたことも覚えています。建築資材も今日と違い、練瓦を使用した獣舎が多く最近までその面影をとどめていました。

私は昭和18年まで在職しましたが、年々発展の一途を辿りました。その1、2を申し上げますと、昭和6年頃人獣交歓会という名で在園20年の動物達を朝日新聞社社会事業団が表彰したことがありました。園内立錫の余地なき程の人出で、たまたま来園した関大阪市長がこの有様を見てこれはいけないといって、昭和7年~8年度にわたり園を拡張して約2倍の面積となり、ますます内容も整備し、例のり夕嬢が参りましたのもその頃のことです。

チンパンジーが日本へ来たのは、それより3年程前に1才半の子供で太郎という名でデビューしたのが最初です。この猿が大変な人気で各地からの観覧者が多くて閉園時間を1時間延長しても見切れぬ位で、病床まで見物人が押しかける有様で無理が重なり早くなりました。その後任としてアフリカに人を派し輸入したのが、り夕嬢で竹馬、自転車、食卓マナーも上手に演じ、その模様は映画に撮りまして皇室にも献上し、芸界にも多数のファンをもち、また満州、蒙古の要人にも親しまれました。

なお日本へ初めてマレイ犀、極楽鳥を輸入して皆様に喜ばれたこと等30年近い園長生活の思い出は尽きませんが、これ位で筆をおきます。

二代目園長

寺 内 信 三

私の動物園生活は、大正12年から初まり39年にもなります。この長い間には動物にまつわる思い出はあまりにも数多いので、すべてを書きつくせませんが、その中から思い出深い話題を2、3ひろって見ました。

大正14年、私は日本で始めて駝鳥の人工ふ化を成功させました。このときは文字通り寝食を忘れる程没頭してしまいましたので、家内によくぐちをこぼされました。

昭和18年、私は林前園長のあとをうけて2代目園長となりました。ときあたかも太平洋戦争も日本に利なくあらゆる物資が欠乏してきましたうえに空襲の危険を感じはじめていた時だったので、翌19年には手塩にかけた猛獣26頭を万一の場合のために処分せねばならなくなりました。この時は眼頭が熱くなり思わず泣けてしまいました。

また、この頃は鉄材回収が叫ばれているときで、鉄檻の供出を迫られたのですが、拒み続けたので非国民視されてしまいました。終戦後会社でいえば破算をしたような動物園を背負わされたので、先ずこの檻に動物を収容することの手始めとして日本かもしかの捕獲を計画しました。このときの1頭が良く育ち、日本かもしか飼育年



ワシントン動物園長と寺内園長

数のレコードを樹立しました。昭和25年、戦後の輸入動物の第1陣として象をタイ国から入れたのですが、このときは、GHQや関西汽船にお百度を踏んだものでした。その甲斐あって、象は無事大阪港に着きました。可愛い子象の到着の知らせは、戦後のすさんだ人々の心に強く反映し、沿道には長い人垣ができて園内も人の波で埋りました。このときの感激は終生忘れられません。子象の春子も百合子も今はすっかり大きくなって春子はもう3トンを越えたと聞いています。

あのとき拒んだ檻には動物がつぎつぎはいり、日曜日の動物園が良い子達の声で一杯になったとき、檻の供出を拒んだ当方が思い出され、熱いものがこみあげてくるのを覚えます。

り夕嬢熱演と当時の良い子達



飼育係の50年

出席者

岡村 卯三郎氏 在職年数41年（大正7年就職、昭和34年定年退職）

狩野 徳松氏 “ ” 34年（大正12年就職、昭和32年定年退職）

松岡、米田、林、樽本各技術吏員、その他飼育係員

司会 中川飼育係長

司会 今日は、開園50周年を記念して、永年勤続されたお二人を囲んで戦前、戦後の動物園の飼育の話をお聞きしたいと思います。先ず、岡村さん、大正7年頃はいかがでしたか？

岡村 今から考えると微々たるもので、園域も事務所の門から北側だけで、北端は武徳殿がありました。今の猛獣放飼園のところはロックガーデンがあり、動物の数も大変少なかった。

司会 主な動物は？

岡村 ぞう、くま、猛獣小獣、水きんなど。

狩野 私が就職した当時は、すでにスマトラさいがおりました。

司会 当時の大動物の移動はいかようにしましたか？

岡村 檻は土人が造ったもので、木の車がついていました。私たちが大阪港まで迎えに行きましたが、当時園内撒水用の馬をつれて行きました。檻が重くその上、檻に木製の車つきなので軸が焼けて水をかけながら、夜通しかかって引張って帰ったものでした。さい舎は今のさい放飼場あたりにあり、そこに入れましたが暴れましたネ。しかし、このさいは余り永生きしなかった。

司会 暖房などは？

岡村 今と同じチームです。ボイラーは開園当初からありました。

狩野 入園後、2年半位で死にましたが、一度さいの肉を食べてみようということになり、赤味のいいところを食べましたが、夜中に40度位の熱

が出ましてネ。医者に診てもらいましたが、とんだサイ難でした（笑）

司会 その頃は飼育係は何人位おりましたか？

岡村 7～8人でした。ボイラーマンは2人でした。

司会 当時の建物で今残っているのは？

岡村 北の小獣舎ぐらいでしょう。

司会 服装はどうですか？

岡村 胸に大阪市立動物園といれたハッピーを着ていました。靴代というのを支給されていたようです。

司会 給料はどの位でした？

岡村 日給45銭でした。

狩野 43銭で入りましたが、常備となると同時に40銭に下りました。

司会 就職時は何の受け持ちでしたか。

岡村 その当時のしきたりですが、初めてのものは水禽係ときまっていた。こき使われました。古参者には絶対服従できびしかった。飼料のイモ洗いにイモむしは新米の仕事にきまっていた。現在では考えられない位きびしかった。そのかわり喧嘩も強かった。

司会 お客さんのトラブルはなかったですか？

狩野 夜桜開園中は、毎晩のようにありました。

岡村 最初は酒を飲んだ客同士の喧嘩でしたが、それを仲裁に行って一しょに喧嘩したものでした。

司会 動物の餌について何か。

岡村 現在と余り変りなかった。毎日、大八車で業者が入っていました。

永田 質などは？

岡村 倉庫係がきびしく、悪いと突き返し、晩になるまで荷受けしなかった。

松岡 当時の猛獣も鯨肉で？

岡村 牛肉の赤味のとこばかりでした。もちろん牛乳も5合位やっていました。



開園当時の良い子達・北園

た当時の思い出などは？

狩野 昭和2～3年頃の太郎の時代でしたが、その芸は日本一というより外人から世界一だといわれたことを憶えています。リタが来たのは昭和7年ですからずっと後です。

松岡 撮影などはどうしてやったのですか？

狩野 舎内や園内のちんの中でした。

岡村 当時はラジオ放送が始まったばかりでしたし、もちろん、録音がなかったので、放送のために上木町9丁目のNHKに動物をよく運んだものでした。正月には、お目出たいせいらんなどを運んだのを憶えています。

司会 昭和8年頃から入園者が増加していますネ。年間250万人も入っています。この頃、南園が拡張され新しい動物が入ってきたのですネ。

岡村 きりんが入ったのもこの頃で北園にいたぞうも移しました。甲子園のぞうを移した時は、夜の9時にアチラを出発して園についたら朝でした。ぞうは早足ですので私らは走らねばなりません。どこでだったかぞうがくると反転しそうになって帰ろうとした時があったが、あとはスムーズに行きました。

司会 さて、動物を扱うコツは？

岡村 むやみに恐れないこと。

狩野 動物にのまれてはいけぬ。のんがかかるとの気持ちで……。

司会 初代林園長の想い出を何か？

狩野 PRの上手な人でした。また、仕事には厳しく、私が一人前になれたのも園長のおかげだと想っています。

松岡 東宮御所にチンパンジーのフィルムを奉納した

司会 昭和10年～12年頃に南園が拡張された訳ですが当時の思い出などは……。

岡村 当時はリタの活躍した頃でした。

狩野 毎日、リタの写真に追い回されて昼食を食べる間がなかったです。リタは入園した時は体重15kgで4才でした。動物園は新聞社などからの取材依頼が大変多く、仕事に差しかえる場合があって困る場合もある訳ですが、これは多少とも、犠牲を払ってでもやらねばならないことだと思います。私などは休けいなしで何度やったかわからない。また、私は朝は6時に来てやりました。そしてお客の入るまでにリタなどの調教をしたものです。

岡村 今、荒い動物は。

司会 ないですネ。

辰野 捕まえに走ることがないですネ（笑）

狩野 昔は動物舎の中に入らなければならなかった。

司会 今は寝室と運動場と別々になっているので危険はないが動物との親密の度合いが薄くなっている感がある。

永田 今は人間も賢くなったし、動物自身もおとなしくなった。（笑）

司会 太平洋戦争から終戦までの話題は？

狩野 固い園内の土を掘ってイモなどを飼料用につくりました。

司会 昭和19年に猛獣の処分をしたのですネ。

岡村 毒殺でした。薬を飲まないものにはロープで殺しました。大変悲しいことでした。

司会 昭和18年から2代目の寺内園長に変わ

鶯の声くらべ・背景は旧猛獣舎 昭和3年5月7日





軍国の波が動物園にもおしよせり夕嬢も出征??

したネ。

岡村 大変いい人で特に動物生態についてはくわしい人でした。

司会 戦後、食糧事情の悪い時は苦労しましたネ。朝、出勤すると穀類不足のためつるが何羽も死んでいる。毎日毎日、ようやく終戦まで生き残った動物たちも栄養失調のためぞくぞく死にましたネ。餌は毎日、中央市場まで大八車を引張って飼料係が買出しに行きましたが「人間の食べるものもないのに……」とおこられながら、それでも市場の中を歩いてくず葉をひろって帰ったことを憶えています。それでも進駐軍の残飯のお蔭で相当助かりました。全滅せずに済んだのは、全く進駐軍の残飯のお蔭だと思います。戦後、動物園が復興しはじめたのは昭和25～6年頃からですネ。

岡村 その第一陣としてぞうの春子がやってきたのですがあの時、大阪港から動物園までの沿道の人出は大変でした。入園者も十万人を数えたとか。

狩野 それから どんどん動物が入ってきまし

た。南園の日本庭園も拡張されたし……。

辰野 最近ではゴリラなんか入ってめずらしい動物も多く入園しました。

司会 昭和36年から全体計画が樹てられ放飼式の動物舎になってきましたが……。

岡村 立派になっていますネ。きりん舎など誇るべきものですネ。

司会 これからの飼育係に望むことは?

岡村 こわがらずに動物に向っていくこと。

狩野 毎週一回位、飼育、園丁の区別なく動物園一体となって会合を持つことが進歩のもとになるのではないかと。また、他園からのお客に対しての接客案内には充分親切にして上げてほしい。

司会 話は尽きませんが、時間がきましたので、この辺で終らせていただきます。どうもありがとうございました。

空襲にそなえて、象も避難訓練を行なった



表紙写真説明

昭和38年、とら放飼園の完成とともに1.5才で入園しました。今年でまる3才立派に成長しましたが、幼獣のときから飼っているので人なつこいところがあります。

吉田平七郎

今は昔、まだ京阪電車のなかった頃、人力車にゆられて小学1年生の私は当時松屋町の博物館にあった動物園を訪れたものだ。そこには象がいたし、大きな鯨の骨格があった。少年時代の驚異と感動が、私の一生を支配するとは思わなかった。小中学時代理科や博物が好きで農科を出たが、生物の先生となり以来40数年になる。その間生物は死んだ標本や挿画ではいけない。あくまで自分の目で見た実感がなければ教えられるものでないことを知り生態写真を始めた。私の動物園通いは加速度的に続けられた。行けば行くほど限りなく未知の興味ある場合にでくわせ取材の宝庫であり、いつでも面白い獲物があり話題がつきないからだ。それ等が写真に記録されて単に教室のおみやげ話にとどまらず、新聞雑誌でも喜ばれて動物園から、科学する動物園、動物の生活、動物園のなし、動物園等の著書となった。

昭和15年の大阪動物園アルバムは全部私が撮影提供したもので、定価35銭であった。動物園アルバムは昭和9年に第1版が出ており同時に発行されたガイドブックがあり、その頃の動物園を偲ぶ絶好の資料となっている。昭和9年は動物園開園20周年記念に当り南園の拡張工事も完成し、いろいろの催し物があったが、大阪城内で4月中動物展覧会があった。私も1ケースまかされたので商工都市と動物園を結びつけるために、商標に現われた動物を調査することになった。実物の商標は数千点集まったが、全国的に統計をとり番付にしたいと思った。時日がないので16名の助手を雇い商標公報を20年間、当時生命のある商標20余万種から動物が出ているもの21,151種全商標の1割強を選び出して分類してみると鳥類8,414、哺乳類7,987は虫類1,158、昆虫類964、魚類838、その他の順になり、個別的に241種の動物中最高点のものから順位を記すと1番が鶴(1,795)2番の馬

(1,695)が両横綱となり以下ライオン、竜・亀・虎・鹿・鳩・犬・鳳凰・象・鷹・鶏・鶯・蝶・牛・兎・猿・猫・鯛・孔雀・燕・熊・羊・蜻蛉等と続き、それぞれ動物の特性と商品との関係また国民の伝統的に動物に対する趣味、嗜好性が窺われて興味深い。時代の変遷につれ、その後誰も新らしく調べたものがないのが残念ながら丹頂鶴と日本人がいかに親しみ深いものであるかがわかり、現在の国鳥雉は73しかなく47番目であった。その後昭和16年は紀元2600年に当り各地で種々催しもあったが、たまたま名古屋の北王園長が動物の歴史展をやってみようというのがきっかけになり、万葉動物考の著者東光治実兄に私が依頼してその原稿を作成してもらったのに計費がないので断ってきた。これは私にも責任があるので林園長にお願いして大阪市立動物園の記念出版になった。それが動物2600年史で小冊子ではあるが、わが国唯一の得難い貴重な文献になっている。50周年の思い出にぜひこの記録を続けて残してほしいものである。大阪動物園が初輸入公開した歴史的な動物は数々あるが、スマトラサイは世界的な珍種で有名である。20世紀始まって以来生きている動物園のオールドファン私が初めて見たチンパンジーやきりん、マレイバク、アノア、ウオンバット、リカオン、ゾリラ、レア、セリーマ、セイラン等も大阪だった。近年キノボリアリクイ、ミツユビナマケモノ、メガネザルまで見せてもらった。リタ、ロイド華やかな時代に上野に比較して大阪だけにいたものが43種あり、上野だけのものは13種しかなかった。

思えば林、寺内園長時代から苦楽をともにしてこられた和田園長となり50周年を迎え面目一新近代大阪の発展にふさわしいものとなったことは喜びも悲しみも通して見てきた私たちとともに動物たちも象の足が鎖でつながれていた時代から総ての動物たちが平等に解放されるようになったのだから本当に私も長生した甲斐があったと感謝している。

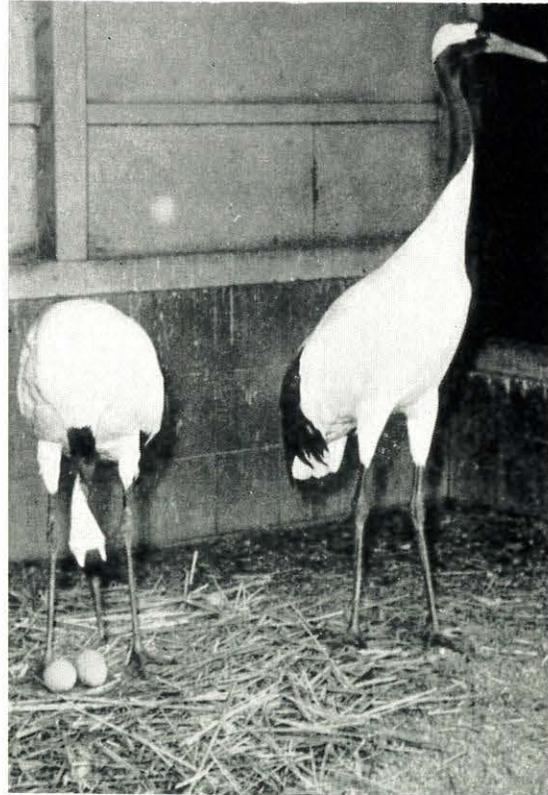


リタ嬢と盲啞学校生徒

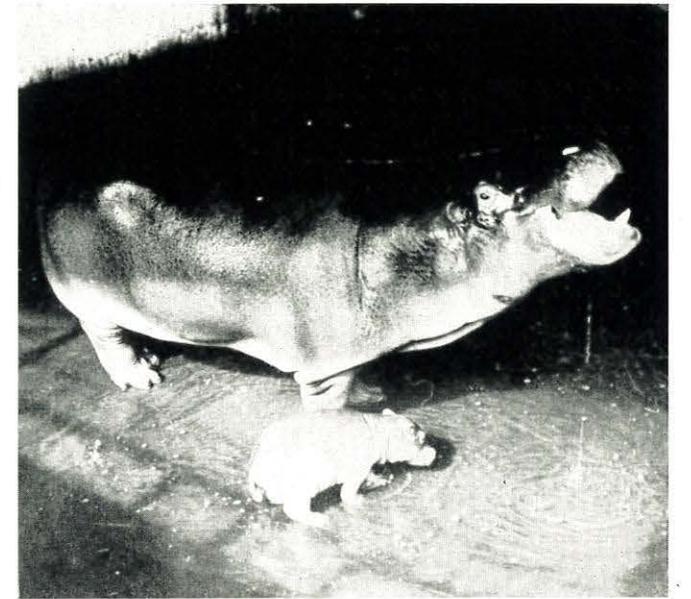


太郎君・映画「人の姿」に出演当時の女優富田 和 (右端) <昭和2年11月7>

たんちょうづるがどんどん産卵ふ化していた<昭和7年>



軍国主義の波がひしひしと動物園にもおしよせた <昭和14年>



▲ かばの仔が生まれました <昭和16年>

◀ 長寿の記録をつかったペリかん (在園41年) <大正9年~昭和35年>



日本の飼育レコードをつかったカモシカ (在園11年) <昭和25~35年>



昭和25年象の入園風景



